東京学芸大学
学大スポーツ
発行所 〒164-0013
東京都中野区
弥生町4-11-15
学大スポーツ新聞社
03(3381)1457

陸上競技
荒谷(M2)が男子十種で4位に入賞
青柳(2年)も女子棒高跳びで8位に

第87回日本学生陸上競技対校選手権大会

陸上の日本インカレは、9月7日から10日まで川崎市の等々力陸上競技場で行われ、男子は日大が96.5得点をあげ優勝した。東学大の男子は5得点で30位だった。（前回は、45位）

女子は筑波大が103.5点で優勝。東学大女子は、1得点で47位だった。（前回は7位）

＜男子＞

●十種競技
4位 荒谷亘彦(M2) 7067点
17位 新田英理子(1年) 3m40

（100メートル11秒25 走幅跳7メートル37 砲丸投げ10メートル71 走高跳1メートル85 400メートル50秒31 110メートルハードル15秒48 円盤投げ30メートル39 棒高跳び4メートル60）自己ベスト（7059点）を更新

9位 本橋輝久(3年) 6870点

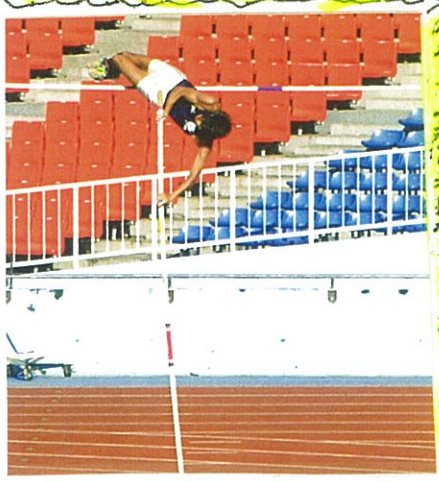
＜女子＞

●棒高跳び 決勝
8位 青柳有香(2年) 3m70
16位 速水舞(4年) 3m60

●やり投げ決勝
12位 平石風歩(4年) 49m82

●七種競技
9位 奥村彩音(2年) 4943点

▲女子やり投げ決勝、3投目に入る平石。2投目をファウルしたあと、入念なアップをくりかえし、こん身の力をこめて投げた。この日のベスト49m82をマークし、13位。



◀男子十種競技 棒高跳びで4m30をとぶ本橋輝久(3年)。総合得点6870で9位。荒谷も4m60をとび、1組でトップ。このとき、荒谷と半島の状況は、会場全体にもアナウスがあり、棒高跳びで上位になった学芸大勢に注目が集まった。

男子バレーボール
2018年度秋季関東大学男子1部リーグ戦
東学大、4敗で現在11位！

▼9月8日 駒沢オリンピック公園体育館

早稲田	3	25	25	25
		25	23	18
		25		13
東京学芸大	0			

▼9月9日 駒沢オリンピック公園体育館

明治大	3	25	24	25
		25	26	21
		25	23	17
東京学芸大	1			

▼9月15日 キッコーマンアリーナ

日本体育大	3	15	25	22
		25	16	25
		23	25	12
東京学芸大	2			

ゲームカウント2対1と先行していながら、惜敗。

▼9月16日 キッコーマンアリーナ

順天堂大	3	25	31	25
		25	29	21
		25		19
東京学芸大	0			

第4日を終えたところで、波と早大が4戦全勝で1位と2位。学芸大と日大が4戦全敗で11位と12位となっている。

野球
東京新大学野球2部秋季リーグ戦
波乱の初戦、9対10

「まさか」6点差を守れず

▼9月9日 日本工業大グラウンド

東京学芸大	1	0	6	0	0	0	1	1	0	10
日大生物	1	0	0	1	0	3	3	0	2x	10

・萩沢、加藤、高木●～飯出
・本塁打 佐藤2塁打 遠藤

学芸大は3回表に一挙6点をうばってリードするが、日大生物に6回ヒワ回に同点にされる。学芸大は9回表に一点を入れ9対8とリードするが、その裏日大に2点を入れられ、くやしいサヨナラ負けとなった。

首都大東京に完封勝利

▼9月17日 日本工業大グラウンド

東京学芸大	0	0	1	1	0	0	2	0	x	4
首都大東京	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・萩沢○～飯出
・本塁打 丸山、飯出

萩沢が完投完封、うばった3振が8、打たれたヒット1本と

いう好投。丸山と飯出にホームランもでて、もり上がった。気をひきしめて、混戦となるリーグ戦を戦ってほしい。

アメリカンフットボール
横国大に7対41でやぶれる

関東大学アメリカンフットボール・1部B-IG8

チーム	1Q	2Q	3Q	4Q	計
横浜国立大	7	7	14	13	41
東京学芸大	0	0	0	7	7

アメフトの秋の初戦の対横浜国立大戦は、9月8日アミノバイタルフィールドで行われ、学芸大は7対41でやぶれた。

この試合、1Qの最初に攻撃したのは学芸大だったが、それをおさえたあとの横国大の攻撃は圧巻だった。終始スピードとパワーで、学芸大におそいかかった。学芸大も4Q中盤のB高橋からWR宮本にパスをつないで、一矢報いた。

サッカー
東学大、後期は黒星スタート

関東大学サッカーリーグ戦・2部

▼9月15日 立正大学総合グラウンド谷キャンパス

慶応大	4	1	0	3	0	0	0	0	0	0
東京学芸大	0									

（交代）堀ノ一木 武沢→金子

この試合、学芸大のスタメンは、FWに高橋湧世、GKに高橋諒太郎を入れ、1年生も4人入るという、前期とはかなりちがったチームの構成。前半は0対0だったが、後半60分、74分、83分と立て続けに慶大にゴールを決められてしまった。

GK	高橋(諒)(2年)	
DF	天本(4年)	
DF	鈴木(翔)(4年)	
DF	荒川(1年)	
DF	上加世田(1年)	
MF	堀(C)(4年)	
MF	鈴木(瀬)(4年)	
MF	住田(1年)	
MF	武沢(1年)	
FW	色摩(3年)	
FW	高橋(湧)(4年)	

▼9月16日 学習院大6～2 東京学芸大

ソフトボール

▼女子 秋季リーグ戦

9/8 東京学芸大17-0慶大（4回コールド）
9/9 東京学芸大8-1東洋大（5回コールド）
9/16 東京学芸大16-0中央大（4回コールド）

東学大は全員安打

▼男子 秋季リーグ戦 2部

9/16 東京学芸大10-4北里大（6回裏サヨナラ負け）

▼男子 秋季リーグ戦 1部

9/16 東京学芸大2-4北星大（最終回サヨナラ負け）

陸上
関東学生新人陸上競技選手権大会
9月14日～16日 相模原

9/16 中央大8～3東京学芸大

2位 小坪聖人(2) 6774点（自己ベスト）
4位 北村(真)(1) 6720点（自己ベスト）
6位 雨宮大樹(1) 6175点
●男子400メートルハードル決勝
7位 池内祐貴(1) 48秒83
●男子400メートル決勝
7位 遠藤幹康(1) 53秒30
●女子一万メートル競歩
3位 則本菜々子(3) 50分38秒45（シーズンベスト）
6位山口千尋(1) 57分2秒16
●女子1500メートル決勝
5位 西川優衣(2) 4分42秒30（シーズンベスト）

むさしの広場

▼秋のシーズンが始まったが、今アメリカンフットボールのTOP8のリーグ戦では、たいへんな激しい戦いがくり広げられている。明治大が32年ぶりに法政大に劇的勝利をおさめたり、立教大が28年ぶりに慶応大に勝つなど、歴史がぬりかえられようとしている。▼もちろん王者の日大が不在ということもあるが、学生スポーツとはどうあるべきか、みんなが考えはじめたからだろう。▼強豪校と言われる子ームだけが勝つのでなく、なにが起きるのかわからないおもしろい時代に入ったとも考えられる。

アイスホッケー

▼9月2日 ガイドードリンコ

東京学芸大2-2東京理科大
（得点者）金川26分 藤村44分

▼9月17日 東大和スケートセンター

成城大2-1東京学芸大
（得点者）増浪38分58秒

女子ラクロス

▼8月15日

成蹊大9-2東京学芸大

リーグ戦

ラグビー

地区対抗関東1区1部

▼9月9日 学芸大6-6東京学芸大

▼9月16日 学習院大6-2東京学芸大